



第2代会長 八木 廣子
(平成14年度～15年度)

「日立女性フォーラム」が創立20周年を迎えたこと、とても素晴らしいことと嬉しく思います。これまで、会員みんなが協力して活動が続けてきたことで、街づくりの成果を挙げることができたのではないのでしょうか。

20年という間、会の活動が続けるという事には、苦労もあったように思いますが、会員の創意と工夫で乗り越えてきたように思います。

女性の視点で日立にはどんな商店会や飲食店があるのだろうと始めた「まちかどウォッチング」が、マップ作成に繋がり、大変好評であったことなど懐かしく思い出されます。

会の会則に「会長の任期は2年を限度とする」とあるようにいろいろなカラーで歩んできた20年！女性大学も開催されなくなり、新しい会員の増えない状況のなかこれから活動をどのように続けていくか、課題があるとは思いますが。

楽しく学び、仲間と繋いできた20年の間、関わったことが心の支えになっています。これからも、日立女性フォーラムの活動が、続いていくことに期待しています。



第3代会長 福地 季子
(平成16年度～17年度)

20年間新しい視点や施策を提言し続けた女性フォーラムに心からお祝い申し上げます。

私は日立女性フォーラムの前身の女性大学を3回受講しています。はじめは、“町のラジオ局”“子どもの心に残る地域のまつり”を提案。3度目の提言「神峰公園を関東一に」発表のパワーポイント研修は後々とてもためになりました。

私は、3代目の会長になり、それまでの多賀商店会とのつながりを途切れさせたくないと思いました。定例会で、見て楽しめ、壁に貼っておいて実生活に使える多賀町のイラストタウンマップを作ろうということになり、平成16年度日立市「女性によるふるさと再発見事業」の助成を受け作成したのが、「彩づく樹々のまちー多賀」です。

翌年「茨城県ハーモニー功労賞」を受賞しました。国立女性教育会館で開催された「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」にワークショップ「生き生きわが街のタウンマップ作り」を出展し、人とのつながりを感じて勇気ができました。

当初「日立女性フォーラムって何？」と言われながらの活動でした。今、女性フォーラムが種々の会議に出席し市政に関わっていることをうれしく思います。そして今もメンバーが市民のため身を挺して活動する姿は貴重で素晴らしく、とても美しいと感じています。これからもご活躍を祈念いたします。